

全国初の試み！

好評につき、中部でも開催！

「森と自然を活用した保育・幼児教育」に関する自治体勉強会 in 中部

～保育・幼児教育の質の向上、森林環境教育・森林 ESD の促進、地方創生・移住促進に向けて～

開催のご案内

【日 時】平成 30 年 7 月 13 日(金) 13:00 ～ 17:30 終了予定 (受付開始 12:30)
【会 場】岐阜県立森林文化アカデミー 森の情報センター (岐阜県美濃市曾代 88)

近年、欧米では幼児期において外遊びを義務化する動きの広がりなども芽生えており、子どもの主体性や自己肯定感等の「非認知的スキル」を、自然体験活動等を通じて早期から醸成することの必要性が指摘されています。

そうした中で、“森と自然を活用した保育・幼児教育”の推進に向けて、認証・認定制度の創設、人材育成、フィールド整備等を通して、“保育・幼児教育の質”の向上に資する支援施策を講ずる自治体が増えており、2018 年 4 月には、「森と自然を活用した保育・幼児教育推進自治体ネットワーク」の設立宣言がなされました。

さらに、学童期に加えて幼児期を対象に拡げて、森林環境教育・森林 ESD を推進する自治体や、子育て世代の高いニーズに着目して、“森のようちえん”等に対する支援施策を充実することで、“移住促進”を図っている自治体も台頭しています。

そこで、2018 年 4 月に新たな「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」が導入されたタイミングに、その動きをさらに拡げていくため、先進的な取組を幅広く情報共有し、学びあいを進め、ネットワークづくりを進めるために、本勉強会を開催いたします。



《 申 込 》
以下の特設ページから、
事前にお申込下さい。

<http://mori-zukuri.jp/shizen-hoiku0713>

《 プログラム 》 (タイトルは仮題)

- (1) 概要報告① 「森と自然を活用した保育・幼児教育」の意義と可能性
～保育所保育指針改定・幼稚園教育要領改訂等を踏まえて～
木戸 啓絵 (岐阜聖徳学園大学 専任講師、日本自然保育学会 理事)
- (2) 概要報告② 「森と自然を活用した保育・幼児教育」最新情勢
公益社団法人国土緑化推進機構
- (3) 概要報告③ 「森林・林業行政における幼児期の森林環境教育の推進状況」
林野庁 森林整備部 森林利用課 山村振興・緑化推進室
- (4) 事例紹介Ⅰ 「福祉部署による“森と自然を活用した保育・幼児教育”支援施策」
鳥取県 子育て応援課、長野県 次世代サポート課、
広島県 安心保育推進課、三重県 少子化対策課
- (5) 事例紹介Ⅱ 「林務部署による“森と自然を活用した保育・幼児教育”支援施策」
岐阜県 恵みの森づくり推進課・岐阜県森林文化アカデミー、
愛知県 森林保全課、岐阜県美濃加茂市 農林課
- (6) 事例紹介Ⅲ 「“地方創生・移住促進”等に貢献する特色ある「森のようちえん」」
【①移住促進による廃園回避】長野県伊那市「高遠第2・第3保育園」
【②移住促進・地域自治体への普及】三重県菰野町「森の風ようちえん」
- (7) 質疑応答・ディスカッション

《参加費》 無料
《定員》 80 名

《対象》
自治体関係者・
地方議員・実践者等

《オプション企画／森林文化アカデミー&森のようちえん 視察ツアー (10:45～12:00)》

岐阜県立森林文化アカデミーと、同敷地内で活動する野外自主保育「森のだんごむし」の視察を行います。(定員 30 名:先着順)

◆「森と自然を活用した保育・幼児教育推進自治体ネットワーク」(10 月設立総会開催予定) 参加市町村募集中！

本年 4 月 17 日に、“森と自然を活用した保育・幼児教育”の認知度や質の向上と充実に向けて、標記ネットワークの設立宣言がなされました。①地方自治体・民間団体等との交流・連携拡大、②情報共有・発信、③調査研究・人材育成、④政策提言・要望等を取り組む予定となっており、10 月には設立総会の開催予定で、現在、参加市町村を募集しています。

詳しくは、<http://www.shizenhoiku.jp/2018/05/21434/> をご覧下さい。

【主催】(公社)国土緑化推進機構
【共催】岐阜県、鳥取県、長野県、広島県、三重県
【問合先】(公社)国土緑化推進機構 政策企画部 (担当:木俣)
TEL:03-3262-8437 E-mail:fore-sapo@green.or.jp

◆交通案内◆
・長良川鉄道「梅山」駅より、徒歩 10 分
・各線「名古屋」駅より、美濃行き高速バス乗車
「美濃小倉公園前」下車、徒歩 15 分
▼詳しくはコチラ↓
<https://www.forest.ac.jp/about/access/>